

灯台 どうだい？

灯台マニアがおくる
崖っぷちマガジン

Vol.06

2015.
early summer

あなたと
眺めたい灯台レコード…

TAKE
FREE

Howard Rumsey's Lighthouse All-Stars / Music for Lighthousekeeping Contemporary Records [1956]



わくこれやばーい!!
かっこ良すぎる。



灯台レコジャケットが
熱くないっすか?!

CONTENTS

あなたと聴きたい灯台レコード

03 灯台レコジャケットが熱くないっすか?!

06 灯台名鑑 Phare de Predrix

08 灯台レコジャケットが熱くないっすか?! (後半)

10 ハラちゃんの灯台マニアへの道『カフェライトハウス』の巻

11 巻末インタビュー
おしえて灯台守さま! 山口和彦さん

12 次号の予告と配布スポット情報

表

紙
の
灯
台



Predrix 灯台。

Loctudy という街の河口、ひときわ目を引く白黒の市松模様の灯台です。ももとは赤い灯台だったようですが、1947年から今の姿となりました。残念ながら灯器は取り外され廃灯となってしまいましたが、今でも街のシンボルになっています。日本は退役した灯台をすぐ取り壊してしましますが、このように大切に残してほしいと切に願います。

灯台名鑑 (P.6) も合わせてお楽しみください。

灯台マニアの集い「灯台フォーラム」を開催します!

今年の2月に「灯台どうだい?」は一周年を迎え、1年ががんばってご褒美のようにちょっとだけ世間様から注目していただきました。ネットニュースやラジオ、新聞で取り上げてくださったことで、「灯台どうだい?」のご縁が少しずつ広がっています。全国にこんなに灯台を愛する方々がいらっやっつんだ!とうれしい喜びと驚きでいっぱいです。さあ気持ちのいい初夏です。ますます灯台めぐりが楽しい時期ですね。みなさまどうぞお気をつけて、灯台と海のレジャーをお楽しみください。素敵な思い出がつかれますように。

また、昨年から私が舵をとります灯台マニアの集い「第12回灯台フォーラム2015」も開催いたします。もしご都合がおつきになるようでしたら、ぜひご参加くださいませ。会場でお会いできましたら嬉しいです!



灯台どうだい? 発行人
2015年5月11日 不動まゆう

灯台フォーラムは、灯台を文化的、歴史的、美的観点から見つめ、語り合う会です。今年は何と!東京工業大学大学院の藤岡洋保教授にもご登壇いただき、灯台建築についてお話いただけます!他にもフランスのコルドゥアン灯台についてや、灯台トリビアクイズなど知的好奇心を刺激するプログラムが満載!灯台守さま達にも会う事ができ、楽しい懇親会では灯台グッズの抽選プレゼントもありますよ。灯台仲間を一気に増やすチャンス!灯台に興味がある方はもちろん、海や船が好きの方、はじめての方もぜひお気軽にご参加ください!

日時: 2015年5月30日 土曜日
13時50分開始 (13時半 受付開始)

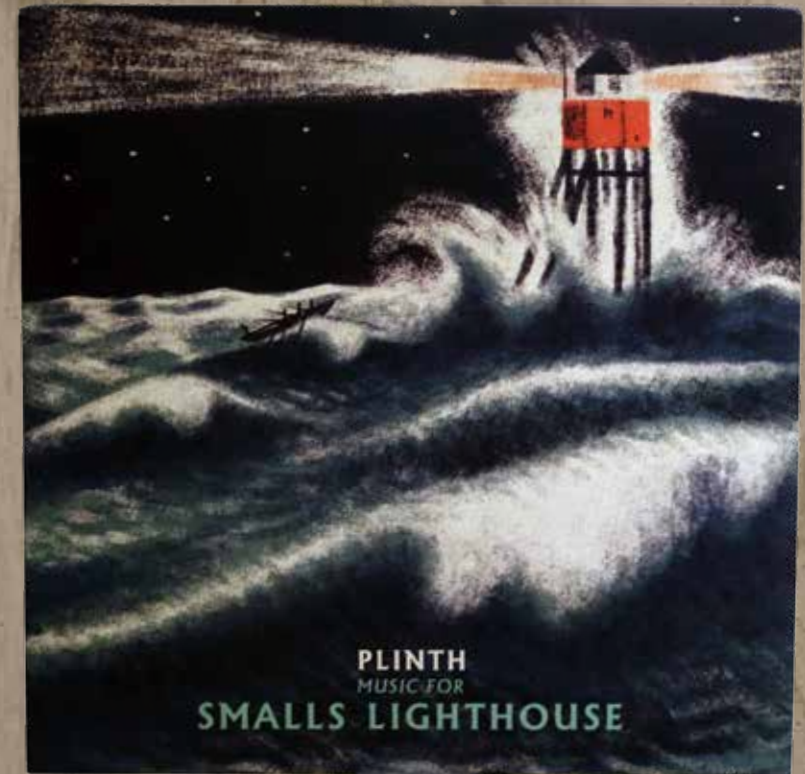
会費: 5000円 (2時間飲み放題の懇親会費込み)
参加予約/お問い合わせ

会場: 波止場会館 (日本大通り駅より徒歩3分)
神奈川県横浜市中区海岸通1-1
045-201-3842 (会場)

toudaiforum@gmail.com (不動)
0466-28-2857
(電話は江ノ島のライトハウスキーパーに繋がります)



amiina / THE LIGHTHOUSE PROJECT
Amínamúsík / Sound of a Handshake [2013]



Plinth / Music for Smalls Lighthouse
claypipemusic [2013]

アイスランドのDalatangi 灯台をジャケットに使っている。写真を折ってつけられた線で灯台の閃光を表しているのだろうか。

アイスランドのReykjavík College of Musicで弦楽器を学んでいた女性4人で結成されたバンドで、ジャンルはニューエイジと一言で言い表せない程の新しい響きがある。

シンセサイザー、デジタルピアノ、テルミン、エレクトリックギター、ケルティックハーブ、ハルモニウム、鍵盤ハーモニカ、チェレスタ、グロッケンシュピール、チェロ、ヴィオラ、ヴァイオリン、グラスハーブ、ミュージカルソー…。数々の楽器を駆使して演奏を行う。この音はテルミンだろうか、ミュージカルソーか？と演奏風景を想像するのも面白い。2009年以降男性2人を加えて6人編成となったようだ。これからも注目していきたいアーティストだ。

灯台へのこだわりも強く、中ジャケットにもいくつものアイスランドの灯台やレンズの写真を使い、実際に灯台で録音した音源も収録されている。その音はモールス信号だろうか、「ピーピピ ピピー ピーピピ ピピー」というもので、背後にモーター音も聞こえる。夏に聴けば北欧の冷たい風が頬を冷やしてくれそうだ。

クレパスだろうか、絵本のような可愛いタッチ。星空に灯台の閃光が浮かぶ。しかしよく見ると荒波に揉まれる一艘の小舟が灯台に向かっていて。無事にたどり着く事ができるのだろうか。不安と無事を祈る気持ちがわき上がる。

1曲目のタイトルは「51° 43' 23 N 05° 40' 10.」ウェールズに実在する灯台の緯度経度だ。このレコードには小さな本が付いている。そこには210年前に実際にこの灯台で起きた悲しい事故のショートストーリーが書かれている。

この灯台に2人の灯台守が赴任してきた。ある日、その1人が事故で亡くなってしまふ。残されたひとりには灯台を無人にする訳にはいかず、しかしどんどん腐っていく亡骸に手を余してしまう。しかたなく部屋の外に置いておくわけだが、そこは海上、岩礁に建てられた灯台。簡易に作った棺は海風で常にガタガタとなり、仕舞いには蓋が壊れ中から死体が飛び出してくる。そのだらりとした手が風に煽られ、まるで自分を呼んでいるかのように手招きをする。孤独な海の上、そして死の恐怖。精神的に追い込まれた彼はついに気が狂ってしまう。

灯台守のおかれた厳しい環境や、孤独さなど、灯台の持つ負の世界観を凝縮したような一枚。ネガティブな話なのだが、楽曲たちはどれも美しく、音の残響に宿る寂しさにゾクゾクしている自分に気づく。

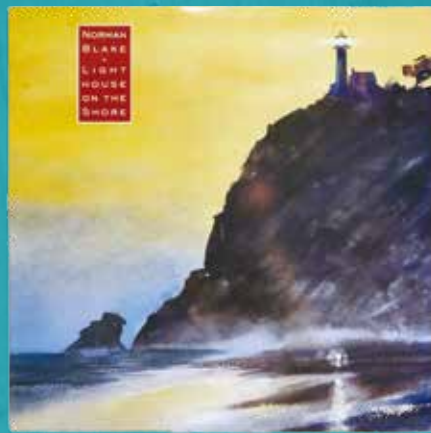


Perdrix 灯台
フランス フィニステール地域圏
47° 50'14.9"N 4° 09'58.3"W
建設 : 1918 年
高さ : 17m
灯質 : 2000 年に廃灯



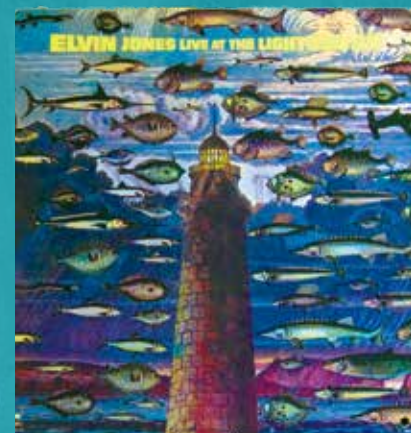
Lighthouse / Lighthouse
RCA/ 日本ビクター Records [1969]

1968年にトロントで結成された Lighthouse というロックバンドの1st アルバム。ロックバンドなのに管弦もはいて13人構成ってすごい？ ジャケはシンプルで灯台が抜き型のようにデザインされている。Juno Awards で3回も Best Canadian Group of the year に選ばれる実力派。



Norman Blake / Lighthouse on the Shore
Rounder Records [1985]

なんだか東洋的な灯台ジャケット。オリエンタルな響きを想像して針を落としたら軽妙なカントリーが流れてきました。カントリーと灯台、新鮮な組合せ。



Elvin Jones / Live at Lighthouse
Blue Note Records [1972]

このジャケに一目惚れ。さまざまな魚が群れとなって灯台に突き刺さろうとしている。さらに見開きジャケットになっていて、内側は何人もの Elvin Jones が波間に浮かんで消えるという強烈なデザイン。Elvin Jones はアメリカのジャズドラマー。このアルバムはインプロ要素が強い。

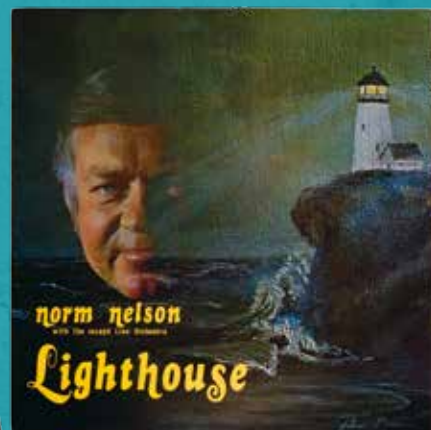


Howard Rumsey's Lighthouse All-Stars
In the Solo Spotlight!
Contemporary Records [1957]

Howard Rumsey はカルフォルニア生まれのベーシスト。その名も「Lighthouse All-Stars」を結成し、ジャケットには Point Vicente 灯台や、海の写真が多く使われている。P. 3 に載せたジャケットも素敵だけど、夕日を浴びるいぶし銀の Howard の渋さとレンズの輝きに痺れる。

灯台ジャケットレコードのジャンルはニューエイジ、ジャズ、ロック、カントリー、賛美歌など多岐に渡ったものだった。特に目立つのは1950年代のウエストコーストジャズが流行った頃のもの。the Lighthouse Café というライブハウスで演奏したことでアルバム名が Lighthouse (灯台) となり、ジャケにもデザインされるという訳。

灯台をテーマに音楽鑑賞すれば、普段は聴かないジャンルの音楽にも触れる事ができる。これがなかなか面白い。もっと色々な国の灯台ジャケットを集めていきたい。



Norm Nelson / Lighthouse
Nelson Records [不明 60年代?]

おじさんが夜空に浮かぶオモシロジャケ。この方は牧師さんだそうですが、ずいぶん世俗的な表情にみえません？ おじさんに食われちゃって灯台が目立たないのが残念。内容はジーザスを讃える音楽です。アーメン。



Modern Jazz Quartet / Live at the Lighthouse
Atlantic Records [1967]

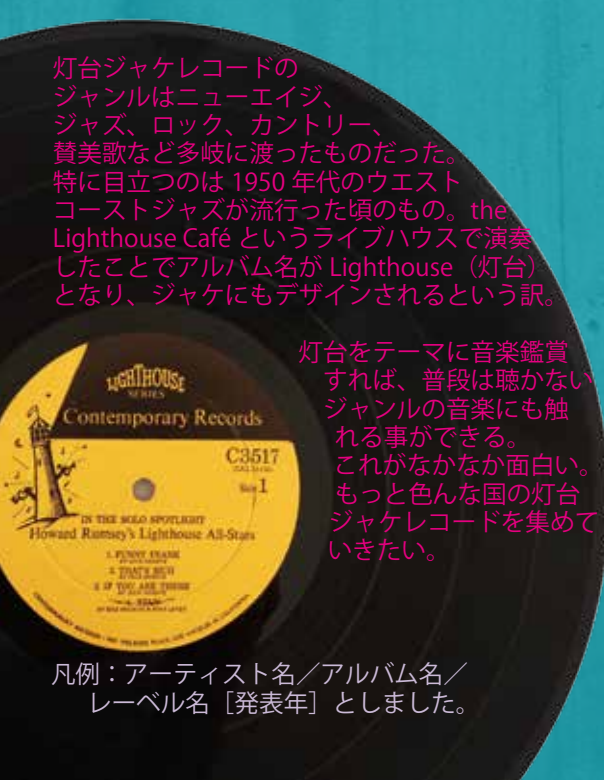
私のママは MJQ が好きで、私が小さい頃よくかけていた。私は MJQ でビブラフォンの音色を知った。その MJQ が灯台ジャケットレコードを出しているなんて知らなかった。こちらも the Lighthouse Café でのライブ音源ということで灯台をデザインしたのですね。内容は至って MJQ。



Jazz Crusaders / Lighthouse '68
Pacific Jazz Records [1968]

Jazz Crusaders は1970年代に活躍したアメリカのフュージョングループ Crusaders の前身バンド。この頃はちゃんとジャズをやっている。Howard Rumsey が拠点にしていた the Lighthouse Café でのライブ音源。フレネルレンズをイラスト化してジャケットにするところがポイント高い。

凡例：アーティスト名/アルバム名/レーベル名 [発表年] としました。



灯台守となつて今年で51年目になります。その間には様々な技術が導入され、灯台は変化をしていきました。灯台守の仕事というワードとレンズ磨きというイメージが最初に浮かぶかもしれません。昭和30年以降、灯台は徐々に電化されていったので、レンズに油煙やススがつかうことはありません。レンズも電気の力でまわるので、重い分銅を巻き上げるという仕事もなくなりまし。さらに現在、灯器がLED化されつつあるから、ますます灯台の世話が必要なくなるかもしれないねえ。

初任地である秋田の入道崎灯台に移り住んだのは二十歳のとき。その後は宮城、青森、東京、北海道、千葉、長崎、沖縄・・・と様々な地で灯台を守り続けて来た山口和彦さん。海上保安庁での仕事を退職した現在も、立場を変えて灯台のメンテナンスを続けている。時代と共に変化する灯台、そして灯台守としての生活について、共に歩んでこられた奥様にもお話を伺うことができました。

なつてしまうのかな。でも、フレネルレンズが残っている灯台と、LED投光器が新たに設置された灯台では、光りの見え方が違うと思わないかい？フレネルが投げかける「ふわっ」と暖かみのある灯りに対し、LEDは「ギョッ」と鋭い灯りというのかな。これは感受性の問題だから人によって違うと思うんだけどね。

海上保安庁時代の仕事内容を教えてください。

私が若いころは電化されていたとはいえず、灯台の下にある官舎に住み込み、無線の当直、氣象観測通報、霧笛の対応、停電や機械の故障に備えていたよ。灯台がある場所は僻地であることが多く、そこに住む事が一番難儀な仕事と言えた。例えばマムシが住み着いていた灯台もあって、事務所の冷蔵庫に血清が保管されていたり、食料不足に陥ったり、電気の配線を治す為に、町まで片道2時間の距離を4往復したりね。

こういった生活に私は覚悟ができていたけれど、家族には大変な想いをさせてしまったかな。

奥様はいかがでしたか？

大変な事もたくさんあったのですが、今思い出すのはいい事ばかりなんです。一生懸命子どもを育てていたら本当にあつたという間でした。ただ何度も転校をさせなくてはならないのは不憫に思っていました。でもね、子ども達が言うんです。お父さんの為にも僕たちが最初にまわりの人たちと仲良くならなくちゃって。苦勞もあつたと思いますが、日本中のいろんな人たちに出会い、様々な文化に触れる事ができて、子ども達にとってもよかつたと思はるんです。

現在も灯台のメンテナンスの仕事をしていらつしやるんですよね？

私は現在、房総半島の灯台約30基を担当しています。灯台によって、毎月確認が必要なものから半年ごとのものなど点検期間は異なりますが、電球交換装置、点灯制御装置のチェック、灯台の建物自体に異常がないか、ハリハン（灯室を覆っているガラス）が汚れていないかというのを確認します。防波堤灯台だとハリハンに何かがぶつかって割れている事もあるし、鳥よけをしていても海鳥の糞で汚れている事がよくあります。最近はメンテナンスフリーという概念もでてきて、1年に1度しか管理を必要としない灯台もでてきました。世話がいらぬ灯台というのは頼もしく感じる反面、ちよつと寂しさを感じる事もありますね。

数年前までメンテナンスを行っていた富津港東防波堤灯台にて



ハラちゃんとは

灯台マニア1年生の25歳。編集アシスタントとしてがんばってます！餃子とカラアゲが大好き。



カフェライトハウスの巻

カフェライトハウス。灯台好きなマスターがゆるやかに営む。なんと小金井に電車で行ける灯台があつたとは・・・

マスターは昔、ブラッドベリの小説『恐竜物語』(Worldで紹介!)を読んだときの印象が記憶に残っていたことや、船乗りだった叔父さんが、マスターにとっては英雄のような存在であつたことから自分自身も船乗りを目指そうと思つた...など、海と船と灯台は身近な存在であつたことから、カフェの名前にしたという話を話してくれました。



暗い海を照らす灯台は運転中の船乗りにとって頼りになる存在であつたそう。同じように、常連さんにとってこのカフェは心の拠り所になつている。

マスターはもしも小金井が海だったら、まっとうすくらしい灰色の海で、荒涼とした世界だと思つてしまふのかな。



学生時代、練習船に乗っていた時に経験した、海の幻想的な景色を語るマスターのことは想像力をかきたてる。

遠くで大雨を降らしているいくつもの雨雲は、まるでキノコが生えているようで面白い、観測できないくらい、まぶしすぎたくさんの星、怖いほどに静かで深い青の太平洋・・・



考える。そこにはどんな灯台が合うかなあ、なんて妄想をしていたりするのだそう。そんな素敵なマスターに会いに行くもよし、レコードの心地良い音にぐるまれて飲むこだわりのコーヒーに感動してもよし、さりげなく置かれていた灯台模型や灯台のスノードームを見つけてニヤッとするのもよし！

マスターの好きなものが詰まつた秘密基地。ライトハウスでほつとしたらどうだい？



Coffee and Jazz
Lighthouse (ライトハウス)
東京都小金井市本町 3-4-41

open 12:00-22:00
close Monday
tel 042-401-1873
武蔵小金井駅北口より徒歩 12分

Dear Light house

灯台へのラブレター

次号の予告
NEXT ISSUE

拝啓 親愛なる灯台さま
大好きな灯台へ想いを込めて手紙を書いたら、
灯台切手を貼って、灯台の風景印を押してもらって・・・
灯台マニアが送るなら、灯台づくしのラブレター！



次号 Vol.07は
2015年8月11日ごろ発行予定！

あゝあゝ。不動

えへへ。
実は一度だけある
でも小さく折りた
たまれて上履きの
中に入れていたの
で本人から確か
でなくなるまで
履いてた気が
す。履いてたか



ハラ



不動

ハラちゃん、
ラブレターって
もらった事ある？



灯台どうだい？を置いていただいている場所 ありがとうございます！

全国の登れる灯台 (入道埼灯台、出雲日御碕灯台、角島灯台、都井岬灯台、潮岬灯台、大王埼灯台、安乗埼灯台、御前埼灯台、初島灯台、野島埼灯台、観音埼灯台、犬吠埼灯台、塩屋埼灯台、残波岬灯台、平安名埼灯台)

海事系博物館 海上保安資料館 横浜館、海洋情報資料館、神戸海洋博物館、船の科学館、横浜みなと博物館、フェルケル博物館、名古屋海洋博物館、瀬戸内海歴史民俗資料館、呉市海事歴史科学館、海王丸パーク 男木島灯台資料館、鳥羽 海の博物館、函館市灯台資料館ピカリン館 東京海洋大学附属図書館越中島キャンパス

カフェ/バー ノアノア【愛知県/美浜町】、美保関灯台ビュッフェ【島根県/松江】、TSUBAKI【茨城/日立】、Lighthouse【沖縄/那覇】
カーディフ【東京/目黒】、まめ吉【東京/玉川上水】、ガンプリヌス【東京/国分寺】

ショップ 『Lighthouse Keeper』灯台グッズ専門ショップ【神奈川/江ノ島】
『STAR SHIP MODELS』海雑貨と船の模型の専門店【北海道/帯広】
『B & B』本屋【東京/下北沢】
『手紙舎 2nd STORY』雑貨とカフェ【東京/調布】
『オンリーフリーペーパー』【東京/渋谷パルコ1の4階と、東小金井の店舗】

「灯台どうだい？」 サポーター制度始めています！

灯台どうだい？のサポーターになりませんか？
年会費1000円で2015年に発行する「灯台どうだい？」をご自宅まで郵送いたします。サポートしていただける感謝の気持ちをこめて初回の号にはちょっとしたプレゼントを同封する予定です。ご興味をもっていただけでしたら、お問い合わせメールにてご連絡くださいませ。

お問い合わせメール
ホームページ

toudaidoudai@gmail.com (いつも激励のメールをありがとうございます！)
http://toudaifreepaper.jimdo.com

Special Thanks
一般社団法人 燈光会
しんちゃん

灯台どうだい？ 第6号 (2015年夏号)
発行日 2015年5月11日
Staff 原 亜緒衣
編集・発行 不動まゆう